年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科 公民 科目 公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ　組

教科担当者：（A組：奈良　敦史）

使用教科書：（ 第一学習社『新公共』 ）

使用教材：（ ワークシートなど ）

教科　公民　　の目標：

【知識及び技能】語句や知識を正しく把握し、表やグラフを読み取る力を培う

【思考力、判断力、表現力等】課題について考えたことを自分の言葉で表現することができる

【学びに向かう力、人間性等】公民としての在り方を模索し、他者と協働して学びを深めることができる

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単元の狙いを把握し、語句がもつ意味や役割を理解しているかどうか	単元のもつ意味、意義について考察し，説明できるかどうか。	現代社会に見られる課題の解決を視野に、自ら関わろうとしているかどうか

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１編　公共の扉 第１章　公共的な空間をつくる私たち ・社会に生きる私たち／「おとな」になるとは、どういうことか考察させる ・個人の尊厳と自主・自律を理解させる ・多様性と共通性について知る ・伝統文化とのかかわりを知る ・自立した主体をめざし何ができるか	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・人生において青年期がもつ意味や役割、伝統や文化について理解している。 【思考・判断・自立】各人のキャリア形成とよりよい社会の形成に結びつく理由を考察し，説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員としてキャリアや公共的な空間について現代社会に見られる課題の解決を視野に関わろうとしている。	○	○	○	7
	第２章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方 ・人間と社会のあり方についての見方・考え方を考察する 第３章　公共的な空間における基本的原理 ・人間の尊厳と平等，個人の尊重、民主主義と法の支配、自由・権利と責任・義務、日本国憲法に生きる基本的原理など、基礎的知識を身に付ける	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を十分に理解している。 【思考・判断・表現】 ・選択・判断の手掛かりとなる二つの考え方について十分に考察し，説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間と社会のあり方について，実際の事例を参考に現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第３章　公共的な空間における基本的原理 ・人間の尊厳と平等，個人の尊重、民主主義と法の支配、自由・権利と責任・義務、日本国憲法 第２編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第１章　法的な主体となる私たち 主題１　法や規範の意義と役割 ・法、基本的人権、・自由に生きる権利と法・規範、平等に生きる権利、安全で豊かに生きる権利、法をよりよいものにするための権利について知り、考える	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・人間の尊厳と平等，個人の尊重とは何か、法や権利など、語句の意味、および公共的な空間における基本的原理が，日本国憲法にどのようにいかされているかを理解している。 【思考・判断・表現】 ・国民主権を基に多くの国が間接民主制を採用する理由、法の支配が必要な理由を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・民主主義，法の支配の視点から現代社会の課題解決を視野に主体的に関わろうとしている。	○	○	○	12
	主題２　契約と消費者の権利・責任 ・さまざまな契約と法、消費者の権利と責任、生活を豊かにする契約/契約自由の原則、消費者主権と情報の非対称/消費者の自立と消費者市民社会について知る 主題３　司法参加の意義 裁判所と司法、国民の司法参加のしくみを知り、よりよい司法参加の方法を探る	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・契約自由の原則、成年年齢の意味，契約について理解している。また、裁判所の役割や裁判員制度についてなど司法の意義を理解している。 【思考・判断・表現】 ・消費者市民社会、国民の司法参加の意義について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・18歳成年をふまえて，契約に関する知識や問題を身近なこととして捉えて考えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期	主題４ 政治参加と公正な世論形成 選挙の現状と課題、世論の形成と政治参加、三権分立と行政、地方自治と住民福祉 主題５　国際社会と国家主権 国家と国際法、国境と領土問題、国際連合 主題６　日本の安全保障と防衛 平和主義と安全保障、核兵器と国際平和 主題７　国際社会の変化と日本の役割 今日の国際社会、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の役割	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・選挙の意義を理解し、日本の選挙制度の現状や課題を把握している。また、三権分立や地方行政についての知識や、領土問題、国際社会における日本の立場について理解している。 【思考・判断・表現】 投票や選挙、地方自治の運営状況などについて考察し，説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会に見られる課題の解決を視野に、政治参加について考えることができる。	○	○		12
	定期考査			○	○		1
	第３章 経済的な主体となる私たち 主題８　雇用と労働問題 私たちと経済、働者と権利、労働環境と課題を知る 主題９　社会の変化と職業観 日本経済のこれまでとこれから、技術革、中小企業、日本の農林水産業について 主題10　市場経済の機能と限界 市場経済と経済運営、市場のしくみ、国民所得経済成長と国民の福祉について知る	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	第３章 【知識・技能】 ・経済の基本的なしくみや考え方を学び、さまざまな労働問題を把握している。また、近年の日本経済の歩みを理解している。 【思考・判断・表現】 近年の雇用事情の変化と労働問題について考察し，説明できる。需要と供給など市場のしくみについて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 労働問題について，現代社会に見られる課題の解決を視野に関わろうとしている。	○	○		10
	定期考査			○	○		1
3学期	主題11　金融のはたらき 金融の意義と役割、金融のいまを知る 主題12　財政の役割と社会保障 財政のしくみと租税、日本の財政の課題、社会保障と国民福祉、これからの社会保障について	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・金融機関や日本銀行の役割、株式投資の社会的意義について、財政課題、日本の社会保障、国際的な経済体制ｔごその課題について理解している 【思考・判断・表現】 金融商品とのかかわりについて現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとし，自己の金融リテラシー向上も主体的に図ろうとしている。	○	○	○	10
	主題13　経済のグローバル化 国際分業と貿易、国際収支と国際経済体制、外国為替相場の動き、グローバル化する経済、地域的経済統合、国際社会における貧困や格差、地球環境問題、資源・エネルギー問題、国際社会のこれからを考察する	・指導事項　・ 教材 ・一人１台端末の活用　等	【主体的に学習に取り組む態度】 税金の使われ方について，問題意識を持っている。国際社会におけるさまざまな課題の解決を視野に、自ら関わろうとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
							合計 78